



白石町地域婦人連絡協議会

広報 笑がお

令和7年
11月号



「命に感謝」

白石町地域婦人連絡協議会会長

片刈 直美

佐賀県地域婦人会は、七つの市町に十七の団体から成り立っています。全国で唯一地域婦人連絡協議会、更生保護女性連盟を一つの団体で担っています。

白石町地域婦人会は町の行事に参画、婦人会の活動に会員の協力を得て継続しています。女性の視点によるまちづくりや世代を超えてともに集う地域のコミュニティ作り、次世代につなぐ持続可能な地域作りを推進してまいります。今年の夏は、本当に暑かつ

緒。その中で一つでも楽しみなね」と。そうできたなら、優しい心、思いやりの気持ちがいっぱい生まれるのではないのでしょうか。

やりたかった事の一つに家族旅行がありました。今年の夏、私にとって初めての家族旅行。長男夫婦、孫、七人の旅です。夫は留守番。息子夫婦、孫からいたわってもらいました。家にいる時は、ちょっとした距離でも車で移動。旅では歩き走り、階段。皆から「ばあちゃん大丈夫？」の連発。

人は必ず老いていきます。若者の世が来ます。潔く品位をもって退き、若い人には負けましよう。

孫を車で送る事があります。片道一時間、その時の会話「ばあちゃん、じいちゃん好き？」私は間を置いて「大好きよ」と返事。孫娘「良かった」と一言。

婦人会元氣です。

定例総会



令和七年度総会を四月十九日に開きました。会場は、初めて白石町ひだまり館で行いました。下平教育長、生涯学習課矢川課長、白石警察署井上交通課長、県地域婦人会山口会長を来賓に迎え、たくさんのお祝辞を頂戴しました。

議事は全議案とも賛成多数で可決されました。議事終了後には、令和七年度から白石町教育長に就任された下平博明様に講演をしていただき、自らが教育者として歩んでいられた経緯を詳しく話していただきました。

総会終了後には小規模でしたが、バザーを開催し、和氣あいあいと総会行事を終えました。

※更生保護施設「佐賀恒産会」とは…
法務大臣の認可を受けて更生保護の
仕事を行っている民間団体で、保護
観察を受けている人たちが、刑務所な
どから釈放された人のうち、住居が
ないとか、頼るべき親族がない人
を宿泊させて生活指導を行い、その
人たちが一日も早く自立し再び犯罪
や非行をしないように援助する保護
施設です。

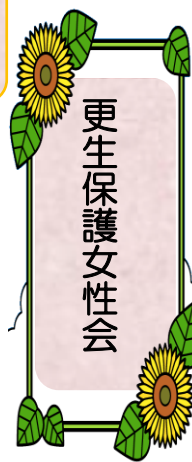


恒産会食事提供 8月20日
メニュー：手羽元のさっぱり煮、
煮卵、ねぎお好み焼き、酢の物、
かぼちゃのサラダ、にゅう麺

**麓刑務所へ暑中見舞
絵手紙送付**



更生保護女性会



更生保護活動は「誰でもや
り直すことができる」「罪を憎
んで人を憎まず」の精神で今
後も婦人会の重要施策の一つ
として続けていきます。

女性会は、今年も会場を運
動のシンボルである「ひまわ
りの花」をたくさん飾りまし
た。

更生保護女性会も推進委員
として参加します。
七月二十六日に第七十六回
社会を明るくする運動大会が
白石総合センターで行われま
した。

**社会を明るくする
運動大会**



アルミ缶回収

(アルミ缶・スチール缶)

アルミ缶(空き缶)回収へ
のご協力ありがとうございました。

令和7年度《前期》の実績を
お知らせします。

4月	3,500円
5月	8,500円
6月	4,200円
7月	4,400円
8月	4,400円
9月	3,700円

集まった収益は、半年で
28,700円でした。

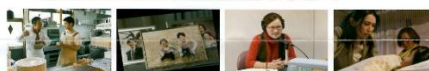
毎月最終金曜の夕方5時か翌
朝8時まで。

元有明公民館の駐車場南
三角コーンを置いていますの
で持ってきてください。



「いいのか?オレなんかが生きていいのか?」

子どもたちの僻やかな未来を巡って、かつてなかった種の危機が訪れています。
親による虐待や子殺し、子どもたちの貧困といじめ…まるで子どもたちの未来に赤
信号が灯ってしまった様な現代社会。こんな時代の子どもたちと真正面から向き合
いながら、心ならずも罪を犯した子どもたちの立ち直りを支援する女性保護司を主
人公にこの物語は語られています。



第75回“社会を明るくする運動”記念上映

日時 令和7年12月13日(土) 開演 13:30 (受付開始 12:30~)

会場 有明スカイパークふれあい郷 有明館 多目的ホール

余席 佐賀県佐賀市白石町2-1-1 TEL 0954-65-3366

※駐車場の数には、限りがあります。

主催 白石町「社会を明るくする運動」推進委員会・佐賀県保護司会連合会

共催 佐賀県佐賀市佐賀南地区 白石町 佐賀県佐賀市佐賀南地区 白石町

※入場券の申し込みは11月末までに、入場券は10月以降、順次発売。

入場無料

※事前申し込みの上、
入場券が必要です。



婦人防火クラブ活動

白石町消防夏季訓練

8月23日

町内3店舗のスーパーで「火災予防」や「火災
報知器交換」のビラ配りの実施



「文化教育部会」交流

～地域で見守ることもたち～
～地域の伝承・文化の伝承～

十月三日

有明東小学校

(六年生 十五名)



白武留康様戦争体験講話

「ナマズ釣る少年なりし裸ん坊
原爆の後着物着せしる」
「泣かぬだけなお悲しきは少年の
背負う弟死者なればなり」

ボッチャ体験

初めてのボッチャ
体験でした。思うよ
うにはいかなかった
けど貴重な体験をさ
せていただきました。
ありがとうございました。

(S・I)



交通安全パレード出発式

四月八日
七月十日
九月十九日



SAGA久光スプリングス 新鍋理沙さん



ドライバーサービス

九月二十二日
ゆうあい館駐車場



母の会手作りマスコット・
ゆっくり行コースター配布



交通安全母の会は、主に
「交通安全は家庭から」を
理念に、子どもや高齢者の
交通事故防止に貢献する
ボランティア団体です。

白石町地域婦人連絡協議会
努力目標

◎地域婦人会として一つにまとまり、県や町のイベントに積極的に参画しよう

◎一人ひとりが交通安全に努め、子どもや高齢者を事故から守ろう

◎SDGSを推進し持続可能な地域づくりに貢献しよう

◎女性団体連絡会を通じて女性の視点での町づくり・防災に参画しよう

★白石町地域婦人会は、県の重点事業に沿って今年度「文化教育」部会に属して活動します



白石町地域婦人連絡協議会研修会 令和7年7月19日



大隈重信記念館について

大隈重信記念館は、大隈重信侯生誕125周年を記念し、昭和42年に早稲田大学名誉教授今井兼次博士(1895~1987)の設計により建築されました。平成29年には開館50周年を迎え、デザインと建築技術に優れた芸術作品としても高く評価され、国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

大隈重信の政治家五訓

【民衆政治家としての大隈重信の信条】

1. 物事は客観的に見よ
2. 怒るな
3. 愚痴を言うな
4. わざばるな
5. 世のために働け

母三井子の人生五訓

【母三井子が少年八太郎に贈った人生五訓】

1. 喧嘩をしないでいけません
2. 人をいじめてはいけません
3. いつも先を見て進みなさい
4. 過ぎたことを、くよくよ振り返ってはいけません
5. 人が困っていたら助けなさい

大隈重信旧宅(生家)について

大隈重信旧宅は佐賀城下の一般的な武家屋敷のありようを示す大変貴重な史跡です。昭和40年に国の史跡に指定され、平成28年には平成の大改修と呼ばれる大規模な保存修理工事を行いました。

大隈重信について

大隈侯は1838年2月16日、佐賀市水ヶ江会所小路に生まれました。総理大臣を2度務め、鉄道の敷設、新通貨制度(“円”制度)の創設、郵便事業、太陽暦の採用など、日本の近代化の基礎を築くとともに、早稲田大学を創設するなど、教育にも力を注ぎました。